医療機関向け　平成26年10月1日

「**かえつ医療・介護ネットワークシステム**

『**ときネット**』について」

**『ときネット』とは・・・**

　　　平成26年度中に新発田北蒲原地域で始まる、医療と介護の新しい情報ネットワークです。この地域の医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護事業所、ケアマネージャ、理学療法士など多職種が、施設の枠を超えて、パソコンでの情報交換を安全にできるようになります。

**今まで、パソコンやメールを使わなかった理由**

　　　現在インターネットや電子メールは、その便利さからビジネスの場でも広く普及しています。しかし、そのままでは中身が読み取られてしまう可能性があり、病気や介護に関する個人情報を扱うことはできません。そのため今までは電話や手紙、ファクスなどが主に使われていました。『ときネット』は高度に暗号化された情報技術（VPN：Virtual Private Network）で、セキュリティを高めています。

**介護事業所・在宅介護では、どんな使い方ができるようになるのか？**

　　　かかりつけ医、ケアマネージャ、各介護サービス事業所、薬局、歯科医などの多職種間で、電子メールのやり取りができるようになります。さらに患者の同意を得られれば、複数の事業所がチームを組んで、患者の病状、介護、薬剤の情報を、同時に共有できます。将来的には、緊急時の救命救急センターにおける利用も検討しています。

**新発田北蒲原地域の病院でも、すでに利用が始まっています。**

　　　脳卒中や大腿骨近位部骨折の地域連携パスには、すでに『ときネット』が導入されています。患者の同意を得て、複数の医療機関で病気の状態や治療内容、リハビリの効果など、紹介状よりも詳しい情報を正確に素早く引き継ぐことができます。

　　参加病院　県立新発田病院、県立リウマチセンター、県立坂町病院、中条中央病院、北越病院、竹内病院、

水原郷病院、新潟リハビリテーション病院、豊浦病院、脳神経センター阿賀野病院、黒川病院

（平成26年9月現在）

運営主体：「下越医療介護連携協議会」

新発田北蒲原医師会・新潟県立新発田病院・新発田市歯科医師会・北蒲原歯科医師会・

下越薬剤師会・新発田市・阿賀野市・胎内市・聖籠町

　　　詳細な内容と、申請の手続きは　後日、各団体からご案内する予定です。